

## 【応募用紙】

### 1 応募者概要

事業所	名称	(ふりがな： ) 株式会社ダイイチ		
	代表者役職・氏名	代表取締役 鈴木一男	従業員数	97名
	所在地	〒231-8631 神奈川県横浜市中区宮川町3-89		
	ホームページアドレス	https://www.un-daichi.co.jp/		
	事業開始年月	1951年3月	環境への取組を開始した年月	2001年4月
	事業内容	企業向けユニフォームの企画・製造・販売・レンタル		
	環境への取組について過去に受けた表彰等	第10回横浜環境保全活動賞 横浜型地域貢献企業		
本社	名称	株式会社ダイイチ	所在地	横浜市中区宮川町3-89
	総従業員数	97名	資本金	6,450万円

### 2 環境に対する企業理念の設定、管理体制

#### (1) 基本理念・自己宣言等

私たちは、ユニフォーム事業を通じ、人と環境との調和を創造します。

#### (2) 環境マネジメントシステム関連

	取組等の名称	詳細内容
ア 認証等	横浜型地域貢献企業	(1) 地域や社会を意識し (2) 地域貢献の視点を持って社会的事業に取組み (3) 地域と共に成長・発展を目指す企業を横浜型地域貢献企業として認定しています。当社は最上位の認定をされています。
イ 組織体制	CSR委員会	社員の約20%が輪番制で2年間所属する組織です。年間活動計画を企画・立案・実践し、誰もが所属することで能動的なCSR活動が実践されます。
ウ チェック機構	内部監査 外部による審査	年1回、CSRメンバーが実施  2年に一度、更新審査を実施⇒(公財)横浜企業経営支援財団より2名の審査員がシステム評価用チェックリストに基づき審査。
エ その他の取組	環境関連や防災関連イベントへの参加	直近では、2019年6月開催の横浜開港祭で、日本環境設計、アイトス、との共同でブース出展致しました。BRING説明・空調服試着イベントです。 10/27 横浜市こども青少年局障害児福祉保健課主催「みんなの防災フェスタ」 11/16「旭北地区防災フェスタ」出展など

#### (3) 取組結果等の公表・広報

ホームページでの公表  
ダイイチ通心での公表  
※ダイイチ通心とは、弊社が毎月1回ペースで発行している顧客向けニュースレターです。

### 3 環境に配慮した製品や技術開発、サービス等の提供・導入

製品・技術・サービスなどの名称	詳細内容
<p>リユース可能なユニフォームとしてのパンツ「パチッとパンツ」の開発と販売</p> <p>環境絵日記展への協賛</p>	<p>裾を切らずにワンタッチで5段階のすそ上げが出来る機能を付けたチノパンを発明しました。【特許No. 3984265】</p> <p>リユース可能にすることで経費にも環境にも優しい商品です。</p> <p>【資料1】</p> <p>みんなでつくる環境未来都市・横浜： 子どもたちに「こんな“未来”になったらいいな」「こんな“未来”にしていきたいな」というアイデアを描いていただく展示会に協賛・表彰状授与をしています。</p>

### 4 事業活動において環境に配慮している取組、社会貢献活動

※取組や活動を開始した年度も記載してください。

	取組・活動等の名称	詳細内容
(1)省エネ・CO2排出量削減の取組	ブルーカーボンの利用	<p>ブルーカーボン（※ア参照）とブルーリソース（※イ参照）による臨海部の資源を活かした地球温暖化対策に取り組み、環境保全や環境啓発などを付加することで、地球温暖化対策と市民にとって親しみやすい海づくりを同時に推進することを目的とする横浜市のカーボンオフセット事業です。【資料2】</p> <p>※ア「ブルーカーボン」とは、海洋生物が二酸化炭素を吸収し、炭素を固定する効果をいう。</p> <p>※イ「ブルーリソース」とは、海洋エネルギー利用、臨海部におけるエネルギー有効利用、海藻や貝類の食用利用又は海洋バイオマスからの有用成分抽出をいう。</p>
(2)廃棄物削減の取組	<p>リサイクル可能なユニフォームの提案</p> <p>フードバンクの周知</p>	<p>使わなくなった服は“BRING=持ち込んで”リサイクルする仕組みをユニフォーム販売時にセットで提案しています。【資料3】</p> <p>「食料銀行」を意味する社会福祉活動。 まだ食べられるのに、さまざまな理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届ける活動です。 弊社が納入した防災食が、賞味期限が近くなった際、誰も口にすることなく廃棄されることがないように、食べ物に困っている人たちに届ける取組みをご紹介します。</p>
(3)生物多様性保全等の取組		※生物多様性特別賞の選考の参考とする欄

(4) 社会貢献活動	NPO 法人美しい港町横濱をつくる会による取組み	NPO 法人美しい港町横濱をつくる会とは、横浜を世界一美しい街にしようという志をもった企業で構成するボランティア団体です。美しい横浜の街並みの実現と横浜の美化運動・清掃活動を通じ、地域社会の健全なる発展と育成、環境の醸成に努めています。会の代表が、我社の代表取締役が就任していることもあり、事務所の貸与や備品類の保管等、積極的な関わりを行っています。【資料4】
	地域清掃	週4回始業前の15分間、毎回15名前後の自主的に参加するメンバーで会社周辺の清掃活動を実施しています。清掃することにより、「謙虚さ」「気づき」「感謝」「感動」「心を磨く」の五徳を身に付けます。
	ピンクシャツデー	2月最終水曜日は「ピンクシャツデー」。ピンクシャツを着たり、ピンク色のものを身につけることで、「いじめ反対」の意思表示をする日です。社員全員がピンクのTシャツを着用し、横浜駅で開催されたイベントではサポートメンバーとして参加しています。【資料5】
	ダイイチバザー	ユニフォームのアウトレット品やわけあり品などを格安で販売するダイイチバザーは、地域住民の方を対象に、年1回開催し、その売り上げを地域貢献活動費として活用しています

## 5 成果を上げている取組や先駆的・模範的な取組・事業

取組や事業の名称	詳細内容
服のリサイクルプロジェクト「BRING」	リサイクルプロジェクト「BRING」は業種や業界の垣根を越えて連携し、衣料品のリサイクルを推進しています。繊維から繊維へ生まれ変わる循環型ポリエステルリサイクルシステムは、石油を使わない未来を創る新技術です。石油由来のポリエステル原料の古着を服の原料にすることで、石油の使用削減に貢献します。【資料3】
リユース可能なユニフォームとしてのパンツ「パチッとパンツ」の開発と販売	裾を切らずにワンタッチで5段階のすそ上げが出来る機能を付けたチノパンを発明しました。【特許No. 3984265】リユース可能にすることで経費にも環境にも優しい商品です。 神奈川県内に拠点を持つ企業等において、女性が開発に貢献した商品（モノ・サービス）の中から、優れた商品を神奈川県が認定する、神奈川なでしこブランドにも認定され、これまでに約80万本超販売しました。

## 6 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

※最も注目してもらいたい／評価してもらいたい取組や、これまでの項目に当てはまらないPRポイントについて具体的に記入してください。

★服のリサイクルプロジェクト「BRING」です。  
お気に入りだったけれども汚れてしまった洋服、成長して合わなくなった子供服、日本ではこのような不要となった衣料品が毎年、100万トン以上が廃棄されその9割が焼却されています。  
この様な多くのもったいない服を新しい服や資源にまで循環させるために、私たちはBRINGを実施しています。SDGsのNo12「つくる責任、つかう責任」は、ダイイチが解決すべく課題と認識しています。

お客様の声から  
生まれました!

パチッとワンタッチで裾上げ調整ができる!

# パチッとパンツ

(男女兼用 / 股下調節機能付き)

当社特許  
「股下調整機能」  
採用実績

**80**万本

特許No.3984265取得

●素材：制電ストレッチツイル  
ポリエステル80% 綿20%



サイズ

	ウエスト	ヒップ	股下
3S	56 - 62	92	76
SS	61 - 67	96	76
S	66 - 73	100	76
MS	72 - 79	104	76
ML	72 - 79	104	82
L	78 - 85	108	82
LL	84 - 91	113	82
3L	90 - 99	118	82
4L	98 - 109	123	80
5L	108 - 119	132	78
6L	118 - 130	140	78



機能も充実!  
汚れがつきにくく、落ちやすい。  
ストレッチで快適な履き心地です!

股下 5 段階調節機能



「神奈川県ブランド」は、神奈川県内に拠点を持つ企業等において、県が認定した女性が開発に貢献した商品です。



バックスタイル

ベージュ

特許No.3984265取得! 股下 5 段階調節機能

3ステップで  
カンタン裾上げ!

簡単かつスピーディーに裾上げが完了。ワンタッチ仕様で急な人事異動等にも楽々対応し、在庫管理にも一役買います。



パチッと

## 優れた実用性&機能性

### ① ノーアイロン

軽くて丈夫で、洗濯したあともノーアイロンのまま着用できます。

### ② 豊富なサイズ展開

男女兼用で、3S~6Lと豊富なサイズ展開なので、在庫管理がラク。

### ③ 両脇ポケット内側に便利なコインポケット



### ④ キーチェーン対応ループ付





©YOKOHAMA FC

## 企業概要

### 事業内容

ユニフォームの企画、製造、販売、卸、小売

レンタルユニフォーム

ユニフォームのインターネット販売

所在地 横浜市中区宮川町 3-89

従業員数 108名

## 脱温暖化に関する主な取組内容

＜ユニフォームの製造に伴うCO<sub>2</sub>排出のカーボン・オフセット＞

### カーボン・オフセットの対象

- ・エスコートキッズTシャツ350枚の製造工程
- ・清掃用ベスト100枚における縫製時の電力・輸送

### 実績

(H30) 2.2t をカーボン・オフセット



横浜FC エスコートキッズ用 T  
シャツデザイン



毎朝、近隣エリアを活動する際に  
カーボンオフセットを付けたビブ  
スを着用しています。



ダイイチ 清掃活動用ビブスデ  
ザイン

前面にはブルーカーボンロゴを  
背面にはI★YOKOHAMAをいれ  
たオリジナルデザイン

## 横浜の海への思い

私たちダイイチは「ユニフォーム事業を通じ、人と環境との調和を創造します」というミッションを掲げています。そのため、本社のある横浜の街の美化が地域社会の活気につながると考え、清掃活動に積極的に取り組んでいます。また、横浜ブルーカーボンの活動を通じ、人と海とのつながりを築く「親しみやすい海づくり」を進めることで、世界に誇れる街「国際都市横浜」に貢献できれば幸いです。

お問合せ先: 株式会社ダイイチ

〒231-8631 横浜市中区宮川町3-89 TEL 045-241-8911(代表)

HP: <http://www.un-daiichi.co.jp/>



# 環境貢献 Environmental Contribution



## 環境に寄り添うユニフォーム

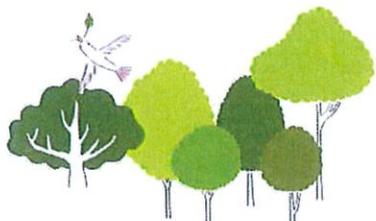
企業活動が及ぼす環境への影響は、世界的な課題となっています。企業は利益を追い求めるだけでなく、地域社会の一員としてよりよい社会にしていけるための活動も求められています。



### 環境配慮素材の使用 エコ商品の選択

#### 植物やペットボトルからできる繊維

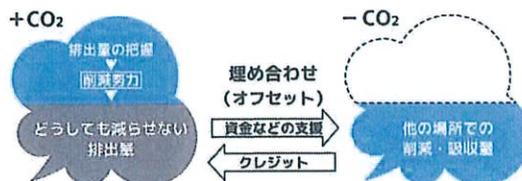
使用済みペットボトルを使用した再生ポリエステル繊維は、環境配慮素材として主流です。グリーン購入法により、この素材を使用していることが、ユニフォーム選定の条件に入ること。その他、サトウキビ由来のポリエステル繊維が登場するなど、環境配慮型素材の選択肢は広がっています。



### 排出した CO<sub>2</sub> を埋め合わせ カーボン・オフセット

#### 森林・海洋保護などに投資する

カーボン・オフセットとは、地球温暖化の原因とされる CO<sub>2</sub> 等の温室効果ガスを減らす取り組みのこと。ユニフォームでは、製品になるまでに排出された CO<sub>2</sub> を森林保護などに投資することによって埋め合わせ（オフセット）し、カーボン・オフセットを証明するタグをつけるのが一般的です。



### 使用済みユニフォームが生まれ変わる！

### 服のリサイクルプロジェクト **BRING**

#### 使用済みユニフォームは廃棄物ではなく資源です

このハチのマークを目にしたことがあるという方も多いのではないのでしょうか？ リサイクルプロジェクト「BRING」は業種や業界の垣根を越えて連携し、衣料品のリサイクルを推進しています。繊維から繊維へ生まれ変わる循環型ポリエステルリサイクルシステムは、石油を使わない未来をつくる新技術です。

回収された  
ユニフォームは  
ポリエステル系に  
リサイクルされます



サイトマップ  
お問い合わせ

[ホーム](#) > 会の概要

[会長挨拶](#) | [活動内容](#) | [組織図](#) | [役員一覧](#) | [定款](#)

## 会長挨拶



当会は、横浜を世界一美しい街にしようという志をもった企業で構成するボランティア団体です。世界に誇れる国際都市横浜の形成に寄与していきたいと考え本会を設立いたしました。こうした活動を通じて、地域社会に貢献すると共に『まちづくりは人づくり』『清掃と経営』社員・従業員の方々が清掃習慣や『“気づき”の心』『きれいな心』をもつことにより、社会全体に対するプラス効果を期待できることから市民・企業・団体に広く啓蒙活動などを行っています。

横浜は世界各国から多くの方々が来訪されます。みなとみらい21地区や山下町、桜木町、関内、ポートサイド地区など横浜港沿岸を中心にこの運動を徹底させ、美しい横浜の街並みの実現と横浜の美化運動・清掃活動を通じまして、地域社会の健全なる発展と育成、環境の醸成に努めてまいる所存です。

ご賛同頂けます企業・団体様はご入会いただき、是非当会の一員として世界一美しい港町横濱の実現に向けまして、共に活動を行って頂けますれば幸いです。

特定非営利活動法人美しい港町横濱をつくる会 会長 鈴木一男

[↑ページの先頭へ](#)

## 主な活動内容

### 1. 港町横濱を清掃しています

当会は市内の清掃ボランティア活動でも最大規模となっております。傘下会員を中心に年2回港町横濱の中心地区（横浜駅周辺、関内、みなとみらい21周辺）の一斉清掃を行っています。



### 2. 会員企業が自ら清掃活動を行います

各企業が自ら、企業の社屋周辺を掃除することにより、おのずと市内は綺麗になります。

こうした企業の輪を広げることにより、清掃活動を通じて市内全域が綺麗になる事をめざしています。



### 3. 講演会を開催しています

当会に参加する会員企業の清掃活動や意識の高揚・研鑽を目的に講演会を開催しております。また横浜市民の事業者を対象に公開しております。

ちがう国籍。ちがう文化。ちがうファッション…。  
ちがうことはあたりまえ。ちがうことは大切な個性。  
だからこそ、たがいを認め合う神奈川に。共に生きる神奈川に。

# PINK SHIRT DAY 2019 in Kanagawa

ピンクシャツデー 2019 in 神奈川  
「いじめストップ!」ワールドアクション

2月はピンクシャツデー月間です。

ピンクのシャツや小物を身に着けて「いじめストップ!」ワールドアクションに参加しよう!!

物語の始まりはカナダ・バンクーバー。ピンクのシャツを着た男子生徒がからかわれ、いじめにあいました。2人の上級生が「ぼくらもピンクのシャツを着て、いじめストップを!」と提案。翌日、呼びかけに賛同し、ピンクのシャツや小物を身につけて登校した生徒たちで学校中がピンク色にそまり、いじめはストップしました。州知事がこのエピソードを知り、2月最終水曜日を「ピンクシャツ・デー」と宣言しました。今では世界70か国以上のワールドアクションとなっています。

物語の続きは神奈川で。いじめストップのストーリーに、あなたのアクションを追加してください。

ピンクシャツデー  
イベント

2019年2月3日(日) 13:00/15:00 横浜ワールドポーターズ

各回:・N.U. LIVE ステージ ・ジェントルハートプロジェクトメッセージ

2019年2月24日(日) 11:00/14:00 横浜駅西口駅前広場(高島屋正面入口前)

各回:・ミニ朗読劇 ・LIVE パフォーマンス(横浜タカシマヤ ダンスユニット、東池袋 52、N.U.)

ファイナル  
イベント

2019年2月27日(水) 13:00-18:00  
新都市プラザ(そごう横浜店地下2階正面入口前)

・N.U. LIVE ステージ ・ミニ朗読劇「ハッピーバースデー」 ・ジェントルハートプロジェクトメッセージ

・横浜市立領家中学校吹奏楽部演奏 ・パネル展示 その他

主催: ピンクシャツデー 2019 神奈川推進委員会

後援: 神奈川県、神奈川県教育委員会、横浜市民局、横浜市教育委員会、神奈川県人権擁護委員連合会、社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会、神奈川県弁護士会、公益社団法人神奈川県医師会、一般社団法人神奈川県歯科医師会、公益社団法人神奈川県病院協会、公益社団法人神奈川県看護協会、一般社団法人神奈川県経営者協会、一般社団法人神奈川県経済同友会、一般社団法人神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会、神奈川県中小企業団体中央会、神奈川県生産性本部、公益社団法人横浜貿易協会、一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会、一般社団法人横浜青年会議所、連合神奈川、かながわ教職員組合連合、横浜市教職員組合、神奈川新聞社、毎日新聞社横浜支局、一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会、一般社団法人横浜青年会議所、連合神奈川、かながわ教職員組合連合、横浜市教職員組合、神奈川新聞社、毎日新聞社横浜支局、

## 服のリサイクルプロジェクト「BRING」取組み経緯（前回受賞からの発展内容）

私たちの使命は、「ユニフォーム事業を通じ人と環境との調和を創造します」。つまり私たちは、ユニフォームで人が輝く環境（労働環境・経営環境・衛生環境・自然環境）を提供し続け、輝いた人々が増えることで、地域・社会が輝いていくことです。この使命を通じて目指すべき課題を解決すべく目標を掲げました。

**BRING** はさまざまな企業が、業種や業界の壁を超えて連携し、衣料品のリサイクルを実施・推進するためのプロジェクトです。衣料品のポリエステル繊維を溶かし出し、精製してもう一度ポリエステル繊維の原料を製造します。

2015年国連で採択された世界を変えるための17の目標SDGs。**BRING**の理念と技術は17の目標のうち、以下の項目に貢献します



ポリエステルの再資源化は企業にとっての責任であり、製品を購入したお客様にとって使い終わった後の責任です。



新たに再資源化された製品は地下資源を使用しないため、CO2削減に貢献できます。これは温暖化防止の具体的なアクションとなります。



地下資源の争奪戦が戦争の引き金になっていると考えれば、地下資源を使用しないことで世界平和に貢献できる。



ポリエステルの質の高い再資源化の技術、廃ポリ回収インフラは静脈物流の核心となる可能性があります。



「もったいない」という気持ちや街をきれいにするという気持ちの醸成は、教科書には表すことができない質の高い社会教育です。



この取り組みは、環境省・民間企業が中心となって動き、横の連携を保ち、消費者（国民）を巻き込んでいく活動です。

これらの課題を経営の中心に捉え、事業を通じて解決に貢献していくことを実践しています。